

平成 24 年 度

地理歴史 (地理) 試験問題 (6 頁中の 1)

(人文・社会科学専攻)

(注意) 解答はすべて別紙解答用紙の定められた欄または枠内に記入すること。正しく記入していない場合には採点されないので注意すること。

1 次の文章を読んで下の問に答えよ。

① 日本は、地震や津波、火山災害のほか、激しい大気現象による災害も多く、世界のなかでも、きわめて自然災害の多い国である。日本列島は、北日本の一部を除くと温帯湿潤気候に属し、モンスーンの影響を強く受けている。(1)気団と(2)気団の間にできた(3)前線帯が日本列島付近に停滞すると、(4)を除いて(3)となる。海上からの湿った気流が(3)前線に沿って合流し、山岳の斜面を上昇してしばしば集中豪雨が発生する。夏に(1)気団の勢力が弱く、(2)気団が長く北日本をおおうと、北海道から東北の太平洋側で、(5)とよばれる冷たく湿った東風が吹き続ける。その結果、低温と日照不足になり、冷害が発生して農作物にも被害がでる。逆に、夏に日照りが続くと、雨が少ない瀬戸内地方を中心に水不足となる。沖縄でも、大きな河川がないこともあり、しばしば水不足に見舞われる。冬は西高東低の気圧配置で北西季節風が吹く。冬の季節風は乾燥しているが、日本海の(6)海流から大量の水蒸気が供給され、雪雲が形成され、脊梁山脈の風上の日本海側に雪を降らせる。一方、風下にあたる太平洋側では晴れて乾燥する。強い寒波が南下すると豪雪となる。世界的にみても日本海側の降雪量が多い。エルニーニョ現象など地球規模の現象の影響で、日本周辺でさまざまな異常気象がおこることも^(イ)ある。

② 日本人は古くから、水を得やすい台地のへりや、低地では(7)堤防上などの微高地に住んでいた。しかし、都市化が進むにつれて、後背湿地などにも(8)堤防で守られた宅地が増加した。このような低地では、ひとたび堤防が決壊すると大きな被害が生じる。また、舗装道路など雨水を地中に浸透させない不透水面が増加し、谷に沿った湿地なども埋め立てられたため、集中豪雨など短時間で大雨が降ると、マンホールから水があふれたり、地下街が浸水するなど、都市型水害が増加している。このような水害を防止するために、地下調整池や地下河川の建設、水を通す舗装、河川の開発制限、防災公園の設置など、さまざまな対策が施されている。^(ク)

③ 日本列島では、山くずれや土砂くずれ、(9)流などの土砂災害がしばしば発生する。これは、日本が(10)造山帯に位置し地殻変動が激しく、山は急峻で河川の勾配が急であり、台風や(3)前線に伴い、豪雨が多いためである。山岳部で豪雨が発生すると、急峻な河川であるために洪水や鉄砲水となり、低地の集落を襲う。また、火山の噴火によっても、(9)流、火砕流や火山弾による被害が生じる。斜面を切り崩し盛り土をして作られた住宅地では、豪雨や地震による地盤の崩壊がおきる。海岸近くの(11)平野では、台風の接近に

伴い、(12)の被害を受けることもある。人間活動による開発が原因で、災害が増加している現状を理解して対策を講じる必要がある。

問1 文章中の(1)から(12)の中に最も適当な語句を入れよ。

問2 文章中の下線部について、下の a～f に答えよ。

a. 下線部(あ)について、一般に山越え気流が風上側で降水をもたらす、風下側で気温が上昇し、乾燥する現象を何というか。

b. 下線部(い)について、エルニーニョ現象の説明として最も適当なものを記号で答えよ。

ア. ペルー沖で湧昇流が弱まり、また赤道上に卓越する東風が弱まるなどの結果、太平洋東部で海面温度が平年に比べて高くなる。

イ. ペルー沖で湧昇流が強まり、また赤道上に卓越する東風が強まるなどの結果、太平洋東部で海面温度が平年に比べて高くなる。

ウ. ペルー沖で湧昇流が弱まり、また赤道上に卓越する東風が弱まるなどの結果、太平洋東部で海面温度が平年に比べて低くなる。

エ. ペルー沖で湧昇流が強まり、また赤道上に卓越する東風が強まるなどの結果、太平洋東部で海面温度が平年に比べて低くなる。

c. 下線部(う)について、都市気候の変化の直接的な要因として正しくないものを次の語句からすべて選び記号で答えよ。

ア. 大気汚染 イ. スラムの発生 ウ. ヒートアイランド エ. スプロール現象
オ. 地価高騰 カ. ゴミの増加 キ. 高層ビルの増加 ク. 地盤沈下

d. 下線部(え)について、防災公園とはどのようなものか、次の語句をすべて用いて、90字以内で述べよ。

避難施設 火災 ヘリポート 水質浄化装置 発電施設

e. 下線部(お)について、台風が発生するための条件として必要なものを次の語句からすべて選び記号で答えよ。

ア. 高い海面温度 イ. 熱帯収束帯における積乱雲の発生 ウ. 偏西風
エ. 太平洋高気圧 オ. 日本周辺の前線 カ. 地球の自転

f. 下線部(か)について、これらの被害を防止するために、設置されている施設や設備を2つ挙げよ。

2 次の文章を読んで下の間に答えよ。

世界の主食作物には地域性がある。世界の四大農耕文化と主食作物の関係は、次のようになっている。地中海農耕文化では(1)類が、サバナ農耕文化では(2)類が、根栽農耕文化では(3)のようなイモ類が、新大陸農耕文化ではジャガイモと(4)がそれぞれ栽培化された。(1)類はおもに粉にし、ヨーロッパではパンやパスタにして食べられている。(2)を主食とする地域は、アフリカ大陸とアジア北部などに分布している。

食生活での食物消費は、主食とその栄養を補うタンパク質からなり、それらの組み合わせにも地域性がある。ヨーロッパでは畜産物との組み合わせが中心になっている。これは中世の(5)農業から発展した混合農業を反映するものである。また、乳製品の利用もヨーロッパを中心に広く分布しているが、東アジアや東南アジアでは乳製品はそれほど利用されていない。これは、東アジアや東南アジアでは主に(6)類や(7)類などをタンパク源にしていることや、住民たちの乳糖を分解する酵素がヨーロッパ人に比べて少ないことなどが理由である。

食物消費の地域性は、作物栽培の気候条件だけではなく、食物禁忌(食べてはいけないもの)などの文化的条件にも影響を受けている。ヒンドゥー教徒は聖なる動物とされる(8)を食べず、菜食主義をとる人も多い。イスラム教徒(ムスリム)は、(9)肉や血の残った肉を宗教上の禁忌から食べず、主に(10)肉が重要なタンパク質として消費されている。ユダヤ教徒も、(9)の食用を禁じている。仏教が伝わった地域にも殺生を戒める考えから動物の肉を食べない人びとがいるが、伝播した地域によって規制のきびしさには幅があり、中国や日本ではゆるやかである。

日本の食生活は経済の高度成長期に大きく変化し、現在の食生活の原形がつくられた。国民が消費する食料のうち、国内生産でまかなえる比率を^(a)食料自給率という。世界には、豊かな食生活を楽しんでいる地域もある一方で、食料不足に悩む⁽ⁱ⁾地域がある。食料問題を世界的な視野から考えてみよう。国連の専門機関のひとつで、各国民の栄養と生活水準の向上などを目的として1945年に設立された(11)の報告によると、全世界で8億人以上が栄養不足に直面している。なぜ食料不足や飢餓などの問題がおこっているのだろうか。人口と食料について考えるときには、地球上での食料生産の総量とともに、食料の需要と供給のかたよりを考える必要がある。⁽ⁱ⁾

問1 文章中の(1)から(11)の中に最も適当な語句を入れよ。

問2 下線部(a)について、次の文の(a)(b)に最も適当な語句を入れよ。

昭和国勢総覧および食料需給表によれば、日本人1人当たりの供給純食料(直接利用可能な食料の実際量)は、時代によって変化している。1935年に年120 kgを超えていた(a)は、2007年には約60 kg程度に減少し、反対に1935年に年間約3 kgであった(b)は、2007年には約93 kgと大幅に増加した。この動きは、日本人の食生活の変化をあらわしている。

問3 下線部(i)について、日本の食料自給率の説明として適当でない文を次のア～オから1つ選び記号で答えよ。

- ア. 小麦の自給率は、1960年ころは40%前後であったが、2007年には10%台に減少している。
- イ. 野菜類の自給率は、1960年代ころに100%を切り、減少を続けている。
- ウ. 豆類の自給率は、1950年ころには50%前後あったが、2007年には10%に満たない。
- エ. 米の自給率は、鶏卵と並んで、2007年も90%を上まわっている。
- オ. 肉類の自給率は、1960年ころには50%前後であったが、少しずつ増加している。

問4 下線部(イ)について、2003年の食用穀物自給率が100%を超えている国を次のア～キからすべて選び記号で答えよ。

- ア. オーストラリア イ. カナダ ウ. イタリア エ. フランス オ. オランダ
カ. スペイン キ. アルゼンチン

問5 下線部(イ)について、次ページのグラフ①は食料生産と人口の地域別推移を示したものである。また、図②では栄養不足人口の割合を地図にあらわした。グラフや図から読みとれる内容として適当な文を、次のア～オからすべて選び記号で答えよ。

- ア. 食料の生産は世界平均では、人口の伸びに対して2000年以降追いついていない。
- イ. 栄養不足人口の割合が高い国が多いアフリカは、人口の伸びに対して、食料生産の伸びが大きく下回っている。
- ウ. 栄養不足人口の割合が高い国があるアジアは、人口の伸びに対して食料生産の伸びは上まわっている。
- エ. 栄養不足人口の割合が高い国が多い南アメリカでは、1人当たり食料生産の伸びが人口の伸びを大きく下回っている。
- オ. 栄養不足人口の割合が高い国が多いアフリカは、1人当たり食料生産が人口に比べて2000年以降伸びていない。

問6 下線部(イ)について、国際的な食料援助が必要な理由と援助の際の注意点を、下の語をすべて使用して130字以内で論ぜよ。

発展途上国 先進国 輸出作物 地域の実情 食料不足

3 次の文章を読んで下の問に答えよ。

朝鮮半島はユーラシア大陸の東端にあって、日本列島に向かい合って突き出ている。半島の南部ではなだらかな地形が多く、北部には山地がひろがる。北朝鮮の白頭(ペクト)山^(a)一帯から流れる2つの河川は国境河川となっている。半島の東部を南北に(1)山脈がはしる。中部以南の西岸と南岸では、(2)海岸が発達している。

朝鮮半島は古くから日本とのかかわりが深い。さまざまな文物が、この半島を通して日本にもたらされた。日本が鎖国をしていた時代にも、朝鮮は正式に国交をもっていた国のひとつである。近代になると日本は朝鮮半島への支配を強め、1910年には植民地とした。1945年に第二次世界大戦で日本が敗北したあと、朝鮮半島は北緯38度線を境に米ソが占領したため分断された。そして1948年には南側は資本主義体制にもとづく韓国すなわち(3)、北側は社会主義体制にもとづく北朝鮮すなわち(4)として別々の国づくりを進めることになった。

韓国の気候は四季の変化が明瞭で、日本に似ているが、大陸に近い^(a)ため寒暖の差が大きい。冬は乾燥して寒さがきびしいため、家屋やアパートに(5)という独特の暖房装置を備えている。食生活では長い冬に欠かせない保存食である(6)が野菜に香辛料や魚介類、塩辛や果物などを加えて作られる。

朝鮮半島には民族固有の文字(7)がある。(7)は母音記号と子音記号を組み合わせてつくる(8)文字である。(9)教は李朝時代に社会生活の基準とされ、(9)教の伝統は1970年代以降に近代化が進んでも、韓国人の精神生活を支えるものとみなされてきた。

韓国では日本より遅く、1960年代後半から経済成長が始まり、最初に繊維工業などが輸入代替工業として発達した。のちに外国資本を導入し、政府の支援のもとで輸出志向の工業化につとめ、「(10)の奇跡」と呼ばれる高度経済成長を実現した。鉄鋼や機械、造船、化学、エレクトロニクスなど広い分野で産業を発展させ、工業製品を海外に輸出している。

問1 文章中の(1)から(10)の中に最も適当な語句を入れよ。

問2 下線部(a)の2つの河川の名を記せ。

問3 日本と韓国の間の海峡にある2つの大きな島を、面積の大きい順に記せ。

問4 日本には多くの韓国・朝鮮人がいる。かれらの抱えている社会問題について100字以内で記せ。

問5 日本の植民地時代の同化政策について100字以内で記せ。

問6 北朝鮮が日本との間に抱える問題について100字以内で記せ。